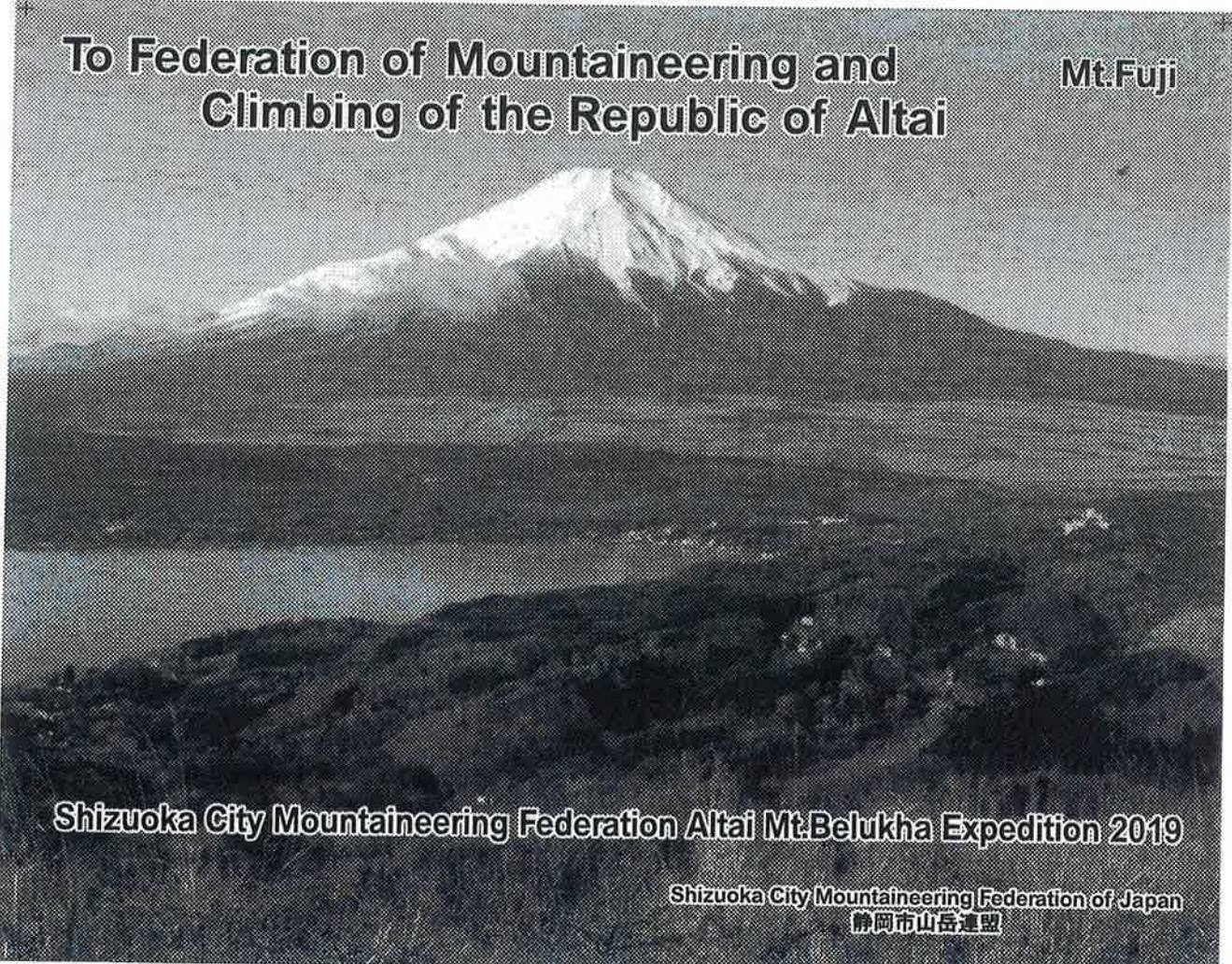




To Federation of Mountaineering and Climbing of the Republic of Altai

Mt. Fuji



Shizuoka City Mountaineering Federation Altai Mt. Belukha Expedition 2019

Shizuoka City Mountaineering Federation of Japan  
静岡市山岳連盟





**Altai Mt. Belukha**  
 Россия - Япония 日本 - ロシア



Altai Republic Mountaineering Federation • Shizuoka-city Mountaineering Federation

**CERTIFICATE**

Удостоверяет в том, что 12 августа 2019 г

This is to certify that on 8A 12A 2019

Mochizuki Kikuji

望月喜久治

совершил(-а) восхождение на высшую точку Горного Алтая –  
 г. Белуха Вост. (4509 м) по маршруту 3A кат.сл.

has successfully climbed mt. Belukha East (4509 m) the highest peak  
 of the Altai.

certificate № \_\_\_\_\_



А. А. Чиргаев

Altai Republic Mountaineering Federation  
 Федерация альпинизма Республики Алтай

安部鉄雄

Shizuoka-city Mountaineering Federation  
 Федерация альпинизма Сидзуоки



ロシア バルナーハ峰 4509m 登頂の記録 望月 喜久治 1947年生

8月3日	清水出発	20:00			
8月4日	成田着	4:00	成田発	8:40	ノボシビルスク空港 14:57 ノボシビルスクHOTEL 15:30
	ノボシビルスク大学	表敬訪問	講堂にて大学側の説明・東海大学学生による海洋学の発表		
	大学側と東海大学・静岡隊合同の懇親会	湖の横にあるパーベキュー用の小屋	日本隊15名ロシア隊10名位で賑やかに言う		
8月5日	9:30	銀行でキャッシング・大学内見学	・23:00バスでテングールへ向かう、ロシアのガイドも同乗する		
8月6日	テングール着	ロッジで過ごす	バンガロー式の建物だ		
8月7日	飛行場の手前でトレッキング隊と別れ登山隊はヘリコプターでBC3000mへ向かう。				
8月7日	ヘリコプターが雪上に降りた。	荷物を受け取りテント場へ向かう。	5人乗りの為3班に分かれて乗る		
	全員が合流したところで雪渓へ向い2時間ほど雪上訓練を行う。	8の字ロシア方式を学ぶ。	ロシアの日が沈むのは21時頃なので1日が長い		
8月8日	訓練を兼ねて3500mまで登ることにする。	フックスザイルが6ピッチありなかなかの急斜面である			
	ユマールにブラ下がるよう必死で登る。	大学隊4名・静岡隊5名無事3500mピークに立つ。			
	帰りに先程登ったところを8の字を使い懸垂で下山する心配だったが何とか無事下山できた。	明日から天気が悪くなるとガイドが話す。			
8月9日	ガイドの話通り雨になった。	明日もまだ悪いとの事だ。	雨が雪に変わり始める		
8月10日	天候悪く停滞となる。	何とか明日は上に行きたい。	もし雨が止まないと山頂を極めることが出来なくなる。		
8月11日	朝のうちは悪かったが10時に出発と決め道具をそろえる。				
	日本では10時からの行動など考えられないことだ。	8日に上った急な斜面を何とか上がることが出来た。			
	この先は緩やかな雪の道だが今夜の幕営地の手前で急登が待っている。	18時3800m無事テント場についた。			
	山頂に向かう時間は24時との事テントを張り食事を済ませシェラフに入る。	周りの声で目が覚める時計は23時だ			
8月12日	24時ライトをつけて出発する。	クレパスがところどころ口を大きく開けている。	フィックスザイルが張られている所があり緊張して登る。		
	日が出て周りの景色を見ることが出来た。	今まで見る事になかった景色だ。	まだ上にフックスロープが張られている。どうも頂上直下の様だ		
	登る人と下る人が同じロープを使い大きな声でお互いに確認をしている。	私は言葉が通じないので苦労する			
	東海大学OBの人を待ち8時バルナーハ山頂に一緒に立つ。	よく登る事が出来た自分を褒めた。			
	山頂には20分ほど滞在して記念写真を撮り下山に入る。	無事ハイキャンプにつく	ロシア人の人が私たちに水を出してくれて嬉しかった。		
	聞くとガイドの友達との事だ。	テントを片付BCへ向かう。	最後の難所6ピッチの懸垂下降を無事下りテント場につき喜びを味わう		
8月13日	BCからアックム湖テント場へ下る	足が棒のようになり辛かった			
8月14日	アックム湖からテングールへ下る	最後はトラックスバスの乗りテングールのロッジにつく			
8月15日	テングールからノボシビルスクへ向かう。	途中でガイド親子を下ろす。			
8月16日	トレッキング隊とホテルで合流・市内観光の為街へ出て買い物をする。	夜はロシアの大学の方アルタイ山岳会の方と送別会を兼ね食事を行う。	この時「日本の山を愛されている皆さんとお会いたい」と日本へ訪問希望をされた		
	私達も是非日本へ来て頂き一緒に富士山や地元の名産品を歩きましょう。	と返事をした。			
8月17日	飛行場へ向かう車がカローラタイプの小さな車に登山道具と運転手を入れ6人乗ることになる。	無理なことではホテルとトラブルになる。			
8月18日	7:30分成田着	一路静岡へ向かう	大学の関係者とはここでお別れをする		

